

第 9 回シンポジウム特別企画  
「コロナに負けない高校生の若き取り組み」の  
実施経緯と会誌への記事掲載について

Background and publication of the 9th Symposium special program  
"High school students' efforts to survive COVID-19 pandemic"

黒澤 眞爾 KUROSAWA Shinji<sup>1</sup>

**要旨**

JACTFL は、第 9 回シンポジウムの特別企画として「コロナに負けない高校生の若き取り組み」を実施した。本報告は、その際登壇した高校生たちが、自らの学習経緯と学びの意味、さらに将来への思いを整理し、記述したものである。

**キーワード:**

高等学校、多様な外国語教育、自律的な学習

**Abstract**

JACTFL has organized the 9th Symposium under the title of "High school students' efforts to survive COVID-19 pandemic". This report elaborates on the experience of high school students who took part in the event. The report includes students' opinions regarding the learning process, the meaning of their studies, and their thoughts about the future.

**Keywords:**

high school, diverse foreign language education, self-directed learning

---

<sup>1</sup> 所属: 関東国際高等学校 KANTO International Senior High School

JACTFL は、その設立趣旨の中で、解決すべき課題として「中等教育、特に高等学校における多様な外国語教育の普及を制度的に推進する」としています。そのため、これまでも様々な機会を通じて、国内外の高等学校における多様な外国語教育の実施状況を紹介してきました。

しかし、残念ながら、学習者である生徒たち自身が、学びについて紹介する機会は、それほど多くなく、是非とも高校生を聞きたいという希望が以前より多数ありました。そこで、第 9 回のシンポジウムを企画するにあたり、高校で英語以外の外国語を学ぶ生徒の皆さんに登壇してもらい、自らの言葉で学びの様子を語っていただくパートを作ってはどうか、提案させていただきました。結果、企画委員の賛同を得ることが出来、オンラインで実施されたシンポジウムには、以下の 4 つの高校の生徒の皆さんが登壇しました。

- ・東京都立北園高等学校(ドイツ語)
- ・関東国際高等学校(韓国語・インドネシア語)
- ・北海道札幌国際情報高等学校(ロシア語)
- ・カリタス女子中学高等学校(フランス語)

内容は、個人発表やグループでの発表など形式的に様々でしたが、全ての発表において、コロナ禍にもかかわらず、生徒の皆さんは活き活きと学びの成果を表現し、視聴していた皆さんから好評を得ることができました。そして、企画した私たちも、高校生の皆さんのポジティブな態度に、励まされました。

今回、JACTFL の会誌を制作するにあたり、シンポジウムに登壇していただいた高校の生徒の皆さんに寄稿をお願いし、彼らの学びの様子を記事として掲載することにしました。

高等学校における英語以外の外国語教育の制度化については、まだまだ未整備な点が多く、JACTFL としても最優先の課題として、継続的に議論を重ね、改善策を広く提言していきたいと考えています。今回の生徒の皆さんの記事掲載をきっかけに、多くの関係者の方々が高校における多様な外国語教育の現況について関心を持っていただければ、幸いです。